

2020年6月16日

株式会社三菱UFJ銀行

MUFG バンク（中国）の中国銀行間債券市場における決済代理人資格取得について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ かおつぐ}三毛 兼承、以下 当行）の全額出資子会社である MUFG バンク（中国）は、今般、中華人民共和国（以下 中国）の中央銀行である中国人民銀行（People's Bank of China、以下 PBOC）から、中国銀行間債券市場（以下 同市場）における決済代理人資格（以下、本資格）を邦銀で初めて取得いたしました。

中国債券市場はアメリカ合衆国に次いで世界第2位の債券市場として近年、急速に成長しています。海外投資家が同市場へアクセスする投資ルートは複数存在^[1]しますが、一部の投資ルートでは海外投資家は本資格を保有するカストディ銀行を通して、中国人民元建て債券へ投資する必要があります。

MUFG バンク（中国）は本資格の取得により、今後は海外投資家を同市場に取次ぎ、カストディサービスの提供を通じて、その投資活動をサポートすることが可能になります。

MUFG バンク（中国）では、従来から「債券プロジェクトチーム」を立ち上げ、当行およびオフショア人民元市場の中心である香港支店と連携しながら中国における債券ビジネスを強化してまいりました。MUFG バンク（中国）は、2017年7月には邦銀初の「ボンドコネク特適格マーケットメーカー資格」、2019年10月には同市場における「一般事業債引受資格」を取得しています。

当行及び MUFG バンク（中国）はこれからも投資家のお客さまへ質の高い金融サービスの提供に励むとともに、中国債券市場の更なる発展にも貢献してまいります。

^[1]人民元クリアリングバンク経由、並びに適格海外機関投資家制度（Qualified Foreign Institutional Investor、QFII）、人民元適格海外機関投資家制度（RMB Qualified Foreign Institutional Investor、RQFII）、CIBM（China Interbank Bond Market）ダイレクト方式での投資ルート

^[2]QFII 制度、RQFII 制度では投資家は事前に必要な資格を PBOC から取得する必要がある

以 上